Otto Bock®

QUALITY FOR LIFE

CE

# Nurmi Neo

ヌルミ ネオ　取扱説明書

# ヌルミ ネオ

## はじめに

この度は、歩行器ヌルミネオをお買い求めいただきまして、誠に有難うございます。
みなさまに安全で快適な毎日を過ごしていただけるよう、ヌルミ ネオはオットーボック社の優れた技術を取り入れた、機能性と耐久性に優れた歩行器です。

本取扱説明書にはヌルミ ネオの安全な正しい使用方法、お手入れの方法等が記載されています。
また、ヌルミ ネオをご使用になる前に必ず「配送状態とセットアップ」、「安全にお使いいただくために」のページをお読みください。お読みになった後も保管をお願いいたします。
ご質問、問題が発生した場合はお買い求めになられた販売店、担当の医師・理学療法士・作業療法士等に相談してください。
この取扱説明書に記載されているデザインは変更になることもあります。

## 使用目的・適応対象

ヌルミ ネオは「ポステリアウォーカー」と呼ばれ、杖などのようにユーザーを前方に牽引するものでは無く、ユーザーを後方から支持するようにデザインされています。このため、歩行の際に足場が自由になり、より自然な歩行が実現します。
ヌルミ ネオは歩行障害を持つ幼児・子供の上体をサポートしながら下肢への負担を軽減し、歩行を補助します。ヌルミ ネオの使用により歩行の際の連続動作を学習し、一連の動作へと進展させることが可能です。運動器官障害、平衡失調／共同運動消失や、その他病気・けがが原因で歩行訓練を必要としている方にも最適です。従来の歩行器とは違い直立の姿勢で訓練を行うことができるため、より自然な歩行姿勢を促進できるのが最大の特徴です。ユーザーにとっては、歩行の動きやバランス感覚を覚える過程が大幅に短縮されます。

## 取得規格

ヌルミ ネオ歩行器はヨーロッパ医療用品規格（93/42/EEC）の認定を受けています。

## アフターサービスと修理

オットーボック社が認定する販売店のみがヌルミ ネオのアフターサービスと修理をいたします。
お使いの歩行器に問題が発生した場合にはお買い求めになられた販売店にご連絡ください。修理には必ずオットーボック社のスペアパーツをご使用ください。

修理およびメンテナンスの為には、下記の工具が必要です。
六角レンチ：3㎜、4㎜、5㎜、6㎜
スパナ：10㎜、13㎜、17㎜、19㎜

## 安全にお使いいただくために

ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。また、ご利用前に、取扱方法・機能・及び使用方法を十分ご理解の上、正しくお使いください。

平坦な、固い地面でご使用ください。

ヌルミ ネオは訓練用の歩行器ですので、必ず担当の医師・理学療法士・作業療法士等の指示、監督のもと使用してください。

ヌルミ ネオを折りたたんだり、拡げる際は、指を挟む恐れがありますので、「開封とセットアップ」の項目で指示されている部分以外は持たないでください、（特に折りたたみの際は注意してください。）

高さ調整用のクイックリリースレバーは工具を使用せず、手できつく締めてください。

ヌルミ ネオの最大荷重量は：
サイズ 1 は 25kg、サイズ 2 は 40kg、サイズ 3 は 55kg です。ご注意ください。

バスケットの最大荷重は 7kg です。

歩行器に重い荷物や重量をかけないでください。歩行器が傾く恐れがあります。

グリップバーの高さ調整には制限があります。（最大限の高さまで引き上げるとバーの後のボタンが飛び出ます。これ以上の高さでは調整をしないでください。）

前方へ転倒する恐れがありますので、グリップの高さ調整をした後は、グリップが前に出過ぎないように奥行きを調整してください。
最低限の奥行き幅に関してはテクニカルデータを参照してください。

転倒の恐れがありますので、ユニバーサルグリップバーは、グリップフレームの上側・または外側で使用することはできません。

お子様が歩行器の前方、後方、サイドの物を取る際は、歩行器から乗り出して歩行器が傾いたりしないよう充分注意してください。

転倒する恐れがありますので、グリップバーをシートと同じ高さで使用しないでください。

梱包材はお子様の手の届かないところに置いてください。特にビニール袋は窒息の危険性があります。

フレーム、人工皮革、プラスチック部分は家庭用中性洗剤を使用してきれいにしてください。

調整のために緩めたネジは必ず締めてください。

## 開封とセットアップについて

ヌルミネオが入っている箱の中には、下記のものが入っています。
・フレーム本体
・グリップバー
・その他ご注文いただいたアクセサリー
（既に、本体に組み付けられている場合もあります。）

下記の要領で、ヌルミネオ本体を組み立ててください。

図 1

図 2

・まず、箱から取り出し、クッション材などを取外し、図 1 のように床に置きます。
・本体フレームの前輪キャスターの後ろを図 2 のように持ち上げ、フレームを完全に開きます。

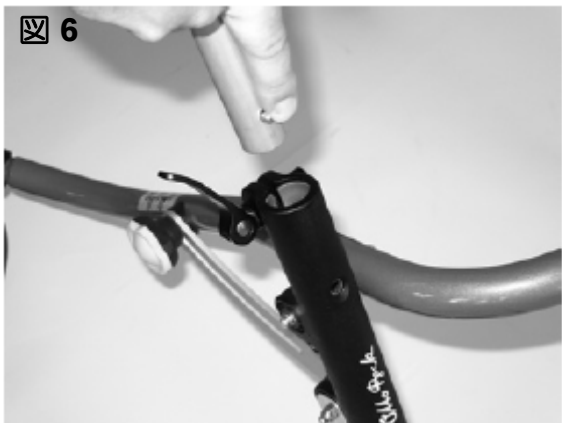
図 3

図 4

・フレーム本体を完全に開いたら、両側の星型のグリップを閉めこみ、固定します(図 3)。
・グリップバーのパイプを図 4 のように開き、図 5 のように、フレーム本体に差し込みます。

図 5

図 6



・グリップバーのパイプの端にあるボタンを押しながら、フレームに差し込みます。その後、左右のパイプのボタンがフレームの穴でロックされるまで、フレームを挿入します。

※　パイプがロックされた高さは、グリップバーの調整範囲の最大の高さです。
　　グリップバーの高さ調整の際には、この高さ以上には設定しないで下さい。

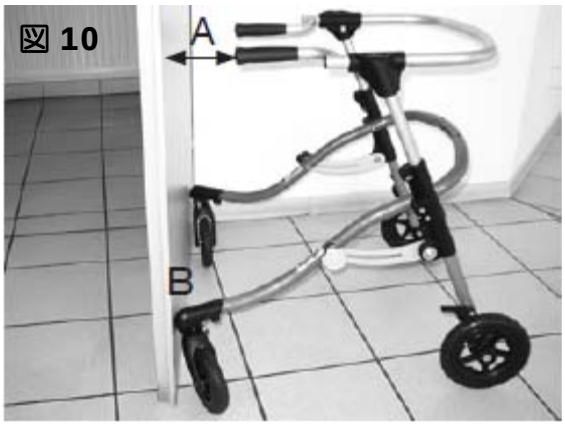
図 7

図 8

・フレームから飛び出たボタンを押すと、グリップバーを下に下げることが出来ます。
・グリップバーの高さを希望の高さに設定したら、フレーム左右についているレバーを倒して、グリップバーの高さを固定します(図 7)。
・レバーの調節が適切でないと、グリップバーの高さを固定することが出来ません。レバーを開いた状態で、反対側のナットを締めて、レバーの締め具合を調節してください(図 8)。
※レバーを倒すときに、少し力がかかる位が適切です。

図 9

図 10




・最後に、グリップバーの前後調整を行います。図 9 のように、グリップ左右内側のボルトを 6 角レンチで緩めると、グリップの前後位置を調整することが出来ます。

・グリップバーの先端が、前輪キャスター先端のプラスチックカバー（B）よりも、少なくとも長さ A（下表参照）だけ後にセットされるように調整してください。（前腕サポートパッド（オプション）使用時は、パッドの先端位置とプラスチックカバーの距離を A としてください。）
※　図 10 のように、平坦な壁やドアを利用すると、A の長さを簡単に図ることが出来ます。
**※　この調整は、グリップバーの高さを変えたときに、必ず行ってください。**
**グリップバーの位置が前過ぎると、転倒の危険性があります。**

| A の長さ | サイズ 1 | サイズ 2 | サイズ 3 |
|---|---|---|---|
| 標準グリップバーの場合・・・ | 11cm | 15cm | 19cm |
| ユニバーサルグリップバーの場合・・・ | 11cm | 15cm | 19cm |
| グリップバー　ミニ　の場合・・・ | 11cm | — | — |
| 縦型ハンドル（前腕サポートパッド）の場合・・・ | 18cm | 20cm | 22cm |

## 調整箇所について

ヌルミネオはグリップバーの高さや位置を、ご利用者様のニーズに合わせて、調整することが可能です。

・グリップバーの高さ/前後位置を調整できます。
※調整方法は、前ページをご参照ください。

**図 13**

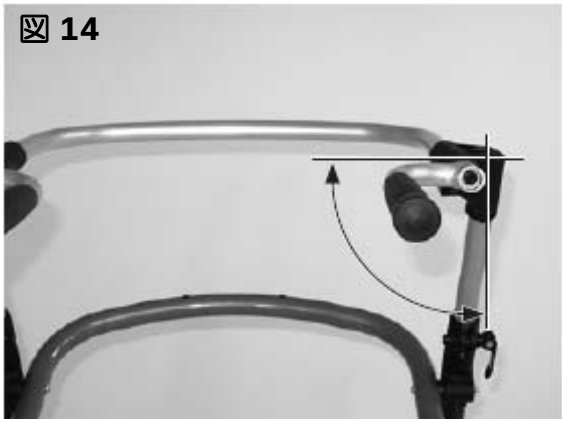


**図 14**

ユニバーサルグリップバー　/　グリップバー　ミニ

・図 13 のように、ハンドル前方のボルトを六角レンチで緩めると、グリップを回転させて、位置を調整することが出来ます。

**・ユニバーサルグリップの調整位置は、図 14 の矢印で示された範囲で行ってください。グリップフレームの上側、外側で使用すると、転倒する恐れがあります。**

・特に低いハンドル位置をご希望の場合は、「グリップバー　ミニ」をご用意しています
※（サイズ 1）のみ
・調整方法・調整範囲は、上記のユニバーサルグリップバーと同じです。

縦型ハンドル　（前腕サポートパッド付）

肘を伸ばして、上体・姿勢を保持することが難しいご利用者の為のオプションです。肘を曲げ、前腕（肘から手首の部分）をパッド上でサポートすることが出来ます。

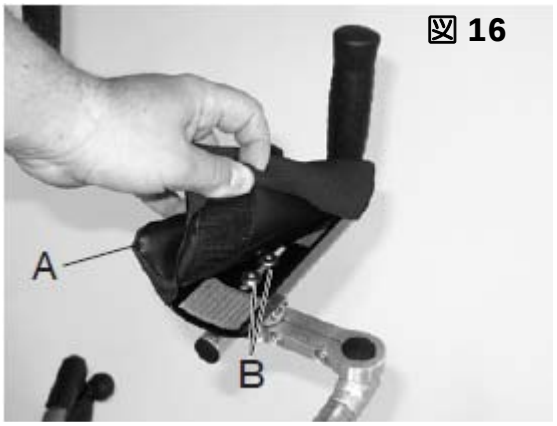


図 16

図 17

図 18

・図 17 のボルト B を緩めると、グリップ（A）の前後位置、及び角度を調整することが出来ます。

・前腕パッド（図 1 の A）をめくると、パッド位置の調整ボルト（図 16 の B）で、パッドの前後位置を調整することが出来ます。

・図 17 のボルト C を緩めると、パッド、および縦型グリップの位置を調整することが出来ます。
この調整は、図 18 の矢印が示す範囲で行ってください。
**※パッドおよび縦型グリップを、グリップフレームの外側にすると、転倒の危険性があります。**

逆転防止装置

ご利用者様が、歩行時に後退する危険性がある場合には、逆転防止装置を作動させ、歩行器の後退をとめることが出来ます。

**図 19**

**図 20**

・図 19：逆転防止装置が作動している状態です。

・図 20：逆転防止装置を上方へはねあげると、歩行器は前進・後退の両方が可能になります。

**※　逆転防止装置が正常に機能しているかどうか、常に確認してください。タイヤや樹脂のパーツが磨耗すると機能しません。交換の必要があります。**

**図 21**

**図 22**

折りたたみについて

ヌルミネオは、運搬や収納の為に、折りたたむことが可能です。

・図 21 のように、フレーム両側の星型のグリップを緩めてください。

・次に、グリップバーを上に引き上げると（図 22）、本体フレームを折りたたむことが出来ます。

・折りたたんだ後に、星型グリップを再度締めておくと、
　不意に本体フレームが開くのを防ぐことが出来ます。

・よりコンパクトにしたい場合は、グリップバーを取り外すことも可能です。

**※　折りたたみの際には、上記以外の部分を持たないで下さい。手や指を挟み、怪我をする危険があります。**

修理、お手入れ方法

ヌルミ ネオは CE の規格を取得し、ヨーロッパ医療用品のガイドライン（93/42/EEC）の認定を受けています。

歩行器を使用する前には必ず歩行器の機能をチェックしてください。

下記のチェック項目に基づいて定期点検を行ってください。

点検を怠ると、故障の原因となり、修理などが保証の対象にならない場合がありますのでご注意ください。

| 点検頻度 / 点検項目 | 毎　日 | 毎　週 | 毎　月 |
|---|---|---|---|
| 逆転防止装置 | ◆ | | |
| ボルトのゆるみ | | ◆ | |
| タイヤ・キャスターの磨耗 | | | ◆ |
| ベアリングの磨耗 | | | ◆ |

※ 上記項目の点検結果、不具合や異常を感じた場合は、
　ただちにお買上げになった取扱店へご相談ください。

※　本製品は 3 ヶ月に一度、お買上げになった取扱店でより詳しい点検を行うことをおすすめします。

**お手入れ方法**

フレームとプラスチックの部分は家庭用中性洗剤以外では拭かないでください。

海水がかからないように注意してください。また砂や細かいごみが車軸へ入り込まないようにしてください。ベアリングの損傷を引き起こします。

保証規定

保証は、本製品が規定の条件下で本来の目的のために使用された場合に限って有効です。

**製品に関するお問合せは**

**オットーボック・ジャパン株式会社**
**営業部**

〒108-0023
**東京都港区芝浦 4-4-44 横河ビル 8F**
TEL: 03-3798-2111 FAX: 03-3798-2112
E-mail: ottobock@ottobock.co.jp
http//www.ottobock.co.jp